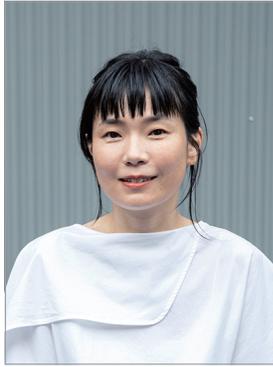


No. 20251165

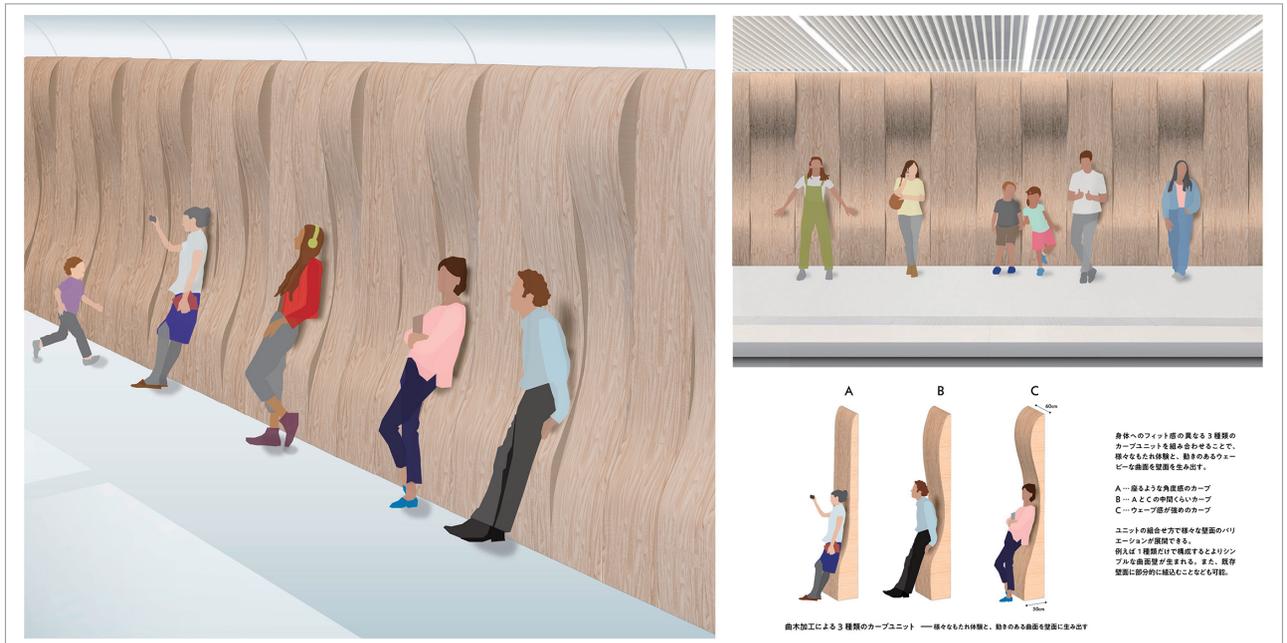
ウェービー
モタレWAVY



みなみゆみこ



デザイン画



空間イメージ図

素材

木合板または集成材(曲木加工に適した木材)

想定する空間

・駅のホーム、空港、公共施設ロビー、待合せ場所など「人が待つ空間」

・その他、モール、展望台、展示会場など「人がたたずむ空間」

デザインコンセプト

人と壁面がもっと親密になる、もたれたい壁体験

都心の地下鉄駅のホームで、仕事帰りと思われる人が何人か壁にもたれていた。ベンチが満席で仕方なく壁に背中をあずけているようだったが、そもそも、壁がもっと“もたれていい存在”だったなら、もっともたれたい壁があったなら…。壁という存在の捉え方も、駅など「人が待つ、たたずむ空間」での体験も変わるかもしれない。

『モタレWAVY』は3種類のカーブによる縦長ユニットで構成される“もたれていい壁”である。3通りの「もたれ体験」ができるとともに、微妙に異なるカーブの連なりによって、独特のウェービーな曲面を壁面にもたらす。ユニットの素材は、木合板または集成材を使用し、曲木加工することによってなめらかで温かみのあるカーブの質感をつくりだす。曲木加工は家具で使われる技術でもあり、家具のような感覚でこの壁と接することができたらと考えた。

無機質な素材が主体の駅や公共空間の中で、おらかな感覚で「この壁にもたれてみたい」と感じられたなら…。大人は一寸身体をあずけたい存在として、かたや子供は遊具の延長のような存在としてこの壁と接するかもしれない。壁と身体ごとふれあえる、たわむれられる—『モタレWAVY』はそんな、壁と人との新しい体験や関係性を生みだす。